

## 緊急支援策第1弾

# 市内事業者に応援金

新型コロナ対策予算69億2940万5千円を追加補正

## 一般会計補正予算第1号の主な事業

### 市の独自支援策

#### 新型コロナウイルス感染症対策事業所応援金

3億5000万円

通称：がんばるバイハ女応援金

▼新型コロナウイルス感染症の影響を受ける地域経済の活性化を支援するため、営業継続の意志があり、市内に事業所を構える事業者に一律10万円の応援金を交付します。

#### 感染症対策用衛生用品の購入

2500万円

▼今後の感染防止のため、避難所等への備蓄や保育所等への配布用として、マスクや消毒用アルコール、防護服、体温計等を購入します。

### 国の支援策

1人につき10万円を交付  
特別定額給付金

62億4000万円

児童手当対象児童1人につき1万円を交付  
子育て世帯への臨時特別給付金

7687万円

#### 賛成討論(要旨)

八女市独自の「事業所に一律10万円支給する応援金」は、全国でも注目されたように高く評価できると考えている。

しかし、支給の対象にならない農家等の人々も同じように困窮に直面しているのではないかと、支援金などが1日も早く市民に届くよう要望するとともに、さらなる追加の支援策を要求し賛成討論とする。

森 茂生



(賛否表16〜17ページ)

## 5月臨時会

5月臨時会は、5月7日の1日間で開催しました。市長から提案された、新型コロナウイルス感染症対策関連の補正予算など4議案を原案どおり可決しました。また、議員提出議案「新型コロナウイルス対策に関する意見書」を可決しました。

5月臨時会において国に対する意見書案を提案し、可決した意見書を国に送付しました。

感染症発生時の議会対応要領を定めました。

5月11日、市に対し要望書を提出しました。

タブレット端末利用専用専門部会において、有事の際のタブレット端末の利活用について検討し、オンライン会議を試行しました。

6月定例会は、支援策が早く実施されるよう、議案を委員会付託せず、本会議で審議を行い即決することで会期を短縮しました。

引き続き現状の把握とともに、市民に必要な支援策が実施されるよう注視していきます。

# 6月定例会

6月定例会は、6月3日から11日までの9日間の会期で開催しました。新型コロナウイルス感染症対策関連の補正予算など市長から提案された34議案を原案どおり可決しました。また、議員提出議案として「新たな過疎対策法の制定に関する意見書」を提案し、原案どおり可決しました。  
(賛否表16〜17ページ)

# 取り戻すため

援策に約3億9209万円を追加補正

## 一般会計補正予算第2号の主な事業

### 市の独自支援策

#### 新型コロナウイルス感染症対策農林漁業応援金

2億2770万円

通称：がんばるバイ八女農林漁業応援金  
▼新型コロナウイルス感染症の影響を受ける市内農林漁業従事者の活動を支援し、農林漁業の持続力強化のため、市内農林漁業者1世帯につき10万円の応援金を交付します。

#### やめっこ子育て応援金

9539万円

▼新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯を支援するため、市内在住の17歳までの児童の養育者に児童1人あたり1万円の応援金を交付します。

#### 八女市プレミアム付商品券助成事業の拡大

拡大分2559万円

▼市内の商店街をはじめ地域経済の活性化を図り、個人消費を喚起するためにプレミアム付商品券のプレミアム率を10%から20%に拡大します。

### 農林漁業者に応援金を支給 がんばるバイ農林漁業応援金

**問** 農林漁業応援金をも  
らえる要件は。

**答** 農業、林業又は漁業  
を自らが営み、従事して

おり今後も継続の意思があること、農林漁業により得られた収入で年間の主たる生計を立てていることを定めている。

**問** 兼業が多いと思う  
が、主たる生計とは収入  
のどれだけか。

**答** 兼業の方にも幅広く  
交付できるように、農業、

林業又は漁業で年間に得られた収入が50%以上と  
している。

**問** 年間収入は、昨年度  
だけでみるのか、過去数  
年の平均等でみるのか。

**答** 昨年度の確定申告書  
の写しで判断するが、農  
産物は、気象や市場価格  
等で収入が左右されるの  
で、仮に50%をぎりぎり  
下回るという場合は、過  
去の申告書も見て総合的  
に判断したい。



# コロナ禍から日常を

市の独自支援策に約3億6599万円、国や県の支

## 国県の支援策



### 八女市立学校における学習支援

3億5473万円

▼八女市立学校の児童生徒向けに1人1台のタブレット端末の整備や教育支援システムを構築します。これにより、児童生徒一人一人の個性や能力に応じた分かりやすい学習を支援します。

### 八女市緊急短期雇用創出事業

2386万円

▼雇用対策として、新型コロナウイルス感染症の影響により働く場を失った方50人を八女市会計年度任用職員として雇用します。

## 市議会予算の活用

### 議会費の減額

減額240万円

▼議会から市へ要望を行い、令和2年度の各常任委員会の視察研修予算を新型コロナウイルス感染症の影響により困窮されている市民への支援に活用するため、議会費予算を減額しました。

## 意見書を採択し国へ提出

### 新たな過疎対策法の制定に関する意見書

現行の過疎地域自立促進特別措置法が令和3年3月末に失効します。しかし、八女市を含む過疎地域※が果たしている多面的・公益的機能を今後も維持していくためには、引き続き過疎地域の振興を図り、そこに暮らす人々の生活を支えていくことが重要です。

このため、過疎地域がそこに住み続ける住民にとって安心・安全に暮らせる地域として健全に維持されるよう、新たな過疎対策法を制定するとともに、引き続き総合的な過疎対策の充実・強化を要望する意見書を採択し、内閣総理大臣や関係大臣に提出しました。

※過疎地域：人口の減少により教育、医療、防災など基礎的な生活条件の確保や担い手の不足等で生産機能の維持が困難な地域。

**問** 教職員は、学習の遅れ等で日々大変な苦勞があると思うが、ICT(情報通信技術)を活用した教育にあたり、教職員への教育はどうなっているか。  
**答** 月に3回ICT支援員が各学校に回るようにしており、その時に研修会を開催している。まずは、教職員に1回でも多く端末にさわっていただくことからスタートしようと考えている。

端末導入で効果的な学習を  
1人1台のタブレット端末を整備

# 新型コロナウイルスの影響による 国保税軽減制度の周知を

(市広報7月1日号掲載)

## 八女市国民健康保険条例の一部を改正する 条例の制定について

地方税法施行令の一部を改正する政令等の施行に伴い、国保税の賦課限度額の引き上げと軽減判定の所得要件を緩和する改正をしようとするもの。

**問** 賦課限度額の引き上げで負担が増える世帯があるが、コロナの影響があるこの時期に改正をすべきではないのでは。

**答** 国から減免分の財政支援措置が示されているので、所得の減少がみられる世帯には減免の案内



# 市役所駐車場対策として 駐車場用地を取得

## 財産の取得について

八女市本村に駐車場用地として土地を取得しようとするもの。約1億6375万円の契約(約2170坪)

**問** この用地の取得単価の根拠は。

**答** 不動産鑑定士の鑑定価格と地価公示価格、現地周辺の土地売買取引等を参考に推計を行い、地権者と交渉して承を得たもの。

**問** 駐車場用地としては、坪単価約7万5千円は高いのでは。

**答** 周辺の住宅地等の売買実績では、坪単価10万円から11万5千円程で取り引きされており、この価格と比較すると安価である。

**問** 駐車場はいると思うが、コロナのこういう時期であり、いったん見送った方がいいのでは。

森 茂生

### 反対討論(要旨)

国保税は、所得が少なくても大きな負担となる。例年ならともかく、現状を考慮するなら、国は今回の改正を白紙撤回すべきだった。市条例による減免制度を充実させ、高すぎる国民健康保険税を大幅に引き下げるよう求め、反対討論とする。

# 人事案件 監査委員

次の方を選任することに同意しました。

木下 徳臣氏

## 農業委員会委員

次の方を任命することに同意しました。

- なかしま ひでのり 中島 秀徳氏
- えさき きよし 江崎 潔氏
- じょうご こういち 城後 公一氏
- うしじま てつや 牛嶋 徹也氏
- いけじり のりよし 池尻 律芳氏
- ますなが かつひろ 増永 勝広氏
- いなば はつお 稲葉 初男氏
- つきあし やすひこ 月足 靖彦氏
- まつお けんいち 松尾 健一氏

### 反対討論(要旨)

コロナの厳しい中、せめて1〜2年しのがなければならぬ時期に、このような大きな金額を支出するのは反対である。

森 茂生



たむら かずひこ 田村 一彦氏

すみ しゅうじ 角 秀次氏

いまむら つぐのり 今村 嗣範氏

うのき としみち 鶴木 利通氏

おおつぼ ちみこ 大坪 知美子氏

かやしま すみお 茅島 澄雄氏

みやげ さとる 三宅 覚氏

こが のりお 古賀 則夫氏

なかむら よしのり 中村 善徳氏

おがわ てつろう 小川 哲郎氏

にたばる かずた 仁田原 一太氏

いりえ やすお 入江 保生氏

なかむら てるよし 中村 輝義氏

ばば やすひろ 馬場 康浩氏

たかやま かずのり 高山 和典氏

## 緊急支援策第3弾

# 追加支援と感染防止

独自支援事業に1億9017万円追加、総額10億7806万円

## 一般会計補正予算第3号の主な事業

### 市の独自支援策

営業活動に使用する事業所等を賃貸している事業者に4万円を交付

通称：がんばるバイ八女事業所家賃支援金 8194万円

市内交通事業者にも車両の乗車定員数に応じた支援金を交付

通称：がんばるバイ八女交通事業者支援金 850万円

新型コロナの予防と感染拡大防止対策に取り組む市内医療機関等に支援金を交付

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策支援金

医療機関 2170万円

障がい者（児）施設等 1340万円

高齢者福祉施設等 2140万円

市内小規模事業主、中小事業主を対象に助成金等の相談や申請書作成を支援

雇用調整助成金等相談事業 400万円

八女市に在住する低所得のひとり親世帯へ1世帯あたり3万円を交付

ひとり親家庭応援金 2235万円

### 国県の支援策

低所得のひとり親世帯へ児童1人目5万円、2人目以降1人につき3万円を交付

ひとり親世帯臨時特別給付金 7892万円

八女市民会館・岩戸山歴史文化交流館に発熱確認の赤外線カメラを設置

文化施設の感染症防止対策 105万円

## 7月臨時会

7月臨時会は、7月1日の1日間で開催しました。市長から提案された議案は、新型コロナウイルス感染症対策のため、市の独自施策に約1億9017万円、国県補助事業に約8147万円を追加する補正予算など5議案で原案どおり可決しました。これにより新型コロナウイルス対策の予算総額は、市の独自施策が約10億7806万円、国県補助事業が約68億8105万円となりました（誓否表16、17ページ）

**問** がんばるバイ八女事業所家賃支援金について

**答** 農業者への倉庫や作業所の家賃補助はどう考えているか。

**問** 影響が出ていければ検討の必要もあるかと思うが、現時点では支援の対象として考えていない。

**問** がんばるバイ八女交通事業者支援金について

**答** 路線バス会社は対象外だが予約型乗合タクシーなど対象の運行をしている部分はどうか。

**問** 路線バス以外の車両で、予約型乗合タクシーや観光バスを運行している部分は対象となるか。

